医療情報管理学 (Medical Information Management)

担当教員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
小菅 優子、榎本 喜彦	1年次後期	選択	2	30	講義	あり	巻末掲載	可
授業概要 (内容と進め方)及び 課題に対する フィードバック方法	医療情報管理学では、医療現場で得られる各種データの管理のための収集や分析に必要な方法論、統計学的手法について教授する。また本講義では修論研究で必要となる実験結果の統計処理や解説、アンケート調査の手法や解析方法について学修する。 課題に対するフィードバック方法/レポートに対して討論するほかコメントをつけて返却する。 実務家教員(小菅、榎本)が講義を進める。							
授業の位置づけ	本学のディプロマ・ポリシー①「臨床検査学の高度な知識と研究手法を体得し、臨床検査の質向上に向けた研究を遂行することができる。」及び②「専門職業人として医療に対する幅広い知識と技能を駆使し、高度な臨床検査を実践できる。」の達成に寄与している。							
到達目標 (履修者が到達すべき目標)	1. 医療情報システムの概要を理解し、説明できる。 2. 医療情報のデータ処理の基本と応用が説明できる。 3. 基礎解析について理解し、説明できる。 4. データ収集による量的研究と質的研究の方法を説明できる。							
時間外学習に必要な 学修内容および 学習上の助言	第1回～第15回事前学習：事前に計画されている単元について主にインターネット等で調べておくこと(各30分) 第1回～第15回事後学習：講義内容で不明な点は、講義終了直後もしくはオフィスアワーを利用して質問するなどして明確にするよう努める/配布資料で復習を行うこと。(各30分) ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間(2単位15回科目の場合：予習+復習4時間/1回)(1単位15回科目の場合：予習+復習1時間/1回)(1単位8回科目の場合：予習+復習4時間/1回)を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。							
授業計画	第1回	医療情報システム、データベース概論						小菅優子
	第2回	病院・医療情報システム、多職種間の情報システムの現状						小菅優子
	第3回	電子カルテと臨床検査システム						小菅優子
	第4回	医療情報と新規臨床検査測定法開発について						小菅優子
	第5回	基礎数値解析1						小菅優子
	第6回	基礎数値解析2						小菅優子
	第7回	多変量統計学的分析1						小菅優子
	第8回	多変量統計学的分析2						小菅優子
	第9回	臨床研究におけるデータ収集と分析						榎本喜彦
	第10回	医療情報倫理と危機管理						榎本喜彦
	第11回	臨床研究におけるデータの質と利益相反						榎本喜彦
	第12回	医療情報の標準化とセキュリティー						榎本喜彦
	第13回	臨床研究における倫理と危機管理を考慮した研究計画書の作成						榎本喜彦
	第14回	質問紙調査の種類と調査方法・解析(応用)						榎本喜彦
	第15回	医療情報システムの新たな構築						榎本喜彦
評価方法 評価基準	プレゼンテーション・討議への参加(50%)、レポート(50%)							
教科書	教科書は特に定めない			参考書等		担当教員から資料を配布		
学生への メッセージ	データの収集、分析及び統計学的な考え方は研究でも臨床の場でも必要とされます。積極的に講義に参加し、発展的手法を学修してください。							